

- 資源管理計画は、1,930計画(大臣管理:14計画、知事管理:1,916計画)。
- 計画対象資源の評価精度等に応じた計画数を区分すると表1のとおり。
- 平成27年度からPDCAサイクルを用いた評価・検証を開始(表2)。更に、平成29年2月に外部有識者を含む協議会で、資源量やCPUE(Catch Per Unit Effort :単位努力量当たり漁獲量)の科学的データを用いた評価・検証を実施するよう資源管理指針に位置付け。

【表1】資源の評価精度等に応じた計画数

	国の評価対象(50種84系群)												国の評価対象外 ※2
	資源量算出(23魚種42系群)						資源量未算出(27種42系群) ※1						
	TAC種(7種20系群)			非TAC種(16種22系群)									
	増加	横ばい	減少		増加	横ばい	減少		増加	横ばい	減少		
資源管理計画数	高位	0	3	2	高位	397	153	0	高位	18	0	0	601
	中位	519	96	292	中位	0	241	101	中位	3	35	11	
	低位	86	11	156	低位	41	302	67	低位	13	38	89	
	実数1,343 ※3												

※1 漁獲量、CPUEや漁獲努力量等のデータに基づき、資源状態等を価し、ABCを算出。

※2 都道府県により資源評価が行われている魚種もある。

※3 単一の計画で複数の魚種が対象となっているため、区分ごとの積み上げは、大臣管理:延べ49計画、知事管理:延べ2,625計画となる。
 なお、国の評価対象種にかかる実計画数は、大臣管理:14計画、知事管理:1,329計画になる。

【表2】資源管理計画の評価・検証状況 ※1

全国計画数(H29.3末)	実施状況	実施計画数	主な資源の状況 ※2			
			増加	横ばい	減少	その他
1,930	H29.3末までに評価・検証済	1,574	578 (36.7%)	574 (36.4%)	415 (26.4%)	7 (0.5%)
	H29~	356	→ H29年度以降、順次実施			

※1 資源管理協議会(行政、試験研究機関、系統団体(漁連、共済組合等)をメンバーとする組織で評価・検証を実施。

※2 単一の計画で複数の魚種が対象となっている場合、主たる魚種の資源状況で判断。